

お申込み要領

お申し込み方法

当協会のホームページより直接お申し込みいただくか、ホームページより申込書をダウンロードして必要事項ご記入の上当協会宛FAXにてお送りください。



一般社団法人
日本赤外線サーモグラフィ協会ホームページ
<http://www.thermography.or.jp/>

会場のご案内



【住所】東京都品川区西五反田6-5-1、【電話】03-3492-2451
■JR山手線「五反田駅」徒歩15分、■東急池上線「大崎広小路駅」徒歩10分
■東急目黒線「不動前駅」徒歩7分

後援・協賛

後援： (財)建築環境・省エネルギー機構、(財)省エネルギーセンター、(社)日本電気協会
日本データセンター協会、(社)日本非破壊検査協会

協賛： NECA vio赤外線テクノロジー(株)、(株)テストー、(株)ビジョンセンシング、
フリアーシステムズジャパン(株)、(株)TFFフルーク社

お問い合わせ先

一般社団法人日本赤外線サーモグラフィ協会 事務局
〒141-0031:東京都品川区西五反田8-1-5 五反田光和ビル6F
TEL 03-5759-1055 FAX 03-5759-1056

省エネルギー・環境における

赤外線サーモグラフィの応用セミナー

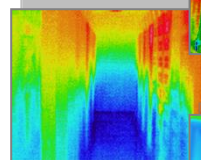
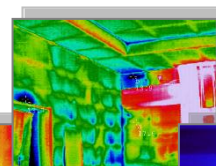
開催のご案内

赤外線サーモグラフィ装置は、熱分布を可視化して評価する事が可能で、省エネルギーを有効に促進するためのツールとして期待されています。本セミナーでは、業界における省エネルギーや環境への取り組みを、赤外線サーモグラフィによる応用に特化した内容で開催いたします。赤外線サーモグラフィによる省エネルギーにすでに取り組みされているまたはこれから取り組まれようとしている技術者、管理者、研究者の方々にとって有益な内容となっております。

- 開催日 : 2012年3月13日(火)10時~17時(予定)
- 場所 : 五反田文化センター (東京都品川区)
- 定員 : 150名
- 参加費 : ￥10,000(会員 ￥8,000)
- 製品展示 : 協賛企業による併設展示

※金額は消費税込みです。昼食にお弁当がつきます。
※後援団体の会員企業は会員価格の適用になります。

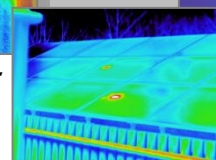
住宅断熱



データセンター



受配電設備



太陽光発電



一般社団法人
日本赤外線サーモグラフィ協会
Japan Infrared Thermography Association

プログラム [平成24年3月13日(火) 午前10:00～午後5:00(予定)]

プログラムは都合により変更になることが御座いますので、ご了承願います。

受付

9:30より受付開始

午前

挨拶

10:00～10:15

★主催者挨拶 日本赤外線サーモグラフィ協会 理事長 阪上 隆英
(神戸大学 教授)

➤講演 センサー動向 (10:15～11:10)

★赤外線センサーと応用(海外事例を含めて)
➤日本赤外線サーモグラフィ協会
理事 木股 雅章 (立命館大学 教授)

注目される赤外線センサーの技術動向、市場動向と応用について、国内外の広範囲な視点から解説いたします。



➤講演 太陽光発電 (11:20～12:20)

★太陽光発電設備点検への赤外線サーモグラフィの応用
➤(独)産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター
システムチーム長 加藤 和彦氏

再生可能エネルギーとして普及著しい太陽光発電システム。発電設備の不具合を、赤外線サーモグラフィ装置を用いて点検する手法を豊富な事例を交えて解説いたします。



午後

➤講演 データセンター (13:30～14:15)

★データセンターにおけるサーモグラフィの省エネルギー応用と課題
➤日本赤外線サーモグラフィ協会
ワーキンググループ 加藤 克己氏

通信の高速化・大容量化に伴い、省エネルギーが課題とされるデータセンターにおけるサーモグラフィの省エネルギーへの応用や課題に関して解説致します。

➤講演 エコ支援事業 (14:20～14:50)

★赤外線サーモグラフィを用いたエコ支援事業とその他応用
➤(財)関東電気保安協会 営業本部
マネージャ 後藤 昌弘氏

関東電気保安協会殿が進める赤外線サーモグラフィを用いたエコ支援事業とその他設備診断等の応用例についてご講演いただきます。

バンダー
セッション

(各協賛メーカー)

14:50～15:40(紹介セッション&展示会観覧)
☆技術相談コーナー、関連書籍展示も予定。

➤講演 住宅の断熱 (15:40～16:40)

★赤外線サーモグラフィによる住宅断熱省エネルギー
評価基準の世界動向と今後の課題
➤(独)東京大学 生産技術研究所
教授 加藤 信介氏

赤外線サーモグラフィによる住宅断熱省エネルギー評価基準の世界動向と今後の課題。サーモグラフィ法による住宅断熱診断の基礎や・適用性、評価基準、世界動向などについて解説いたします。

